

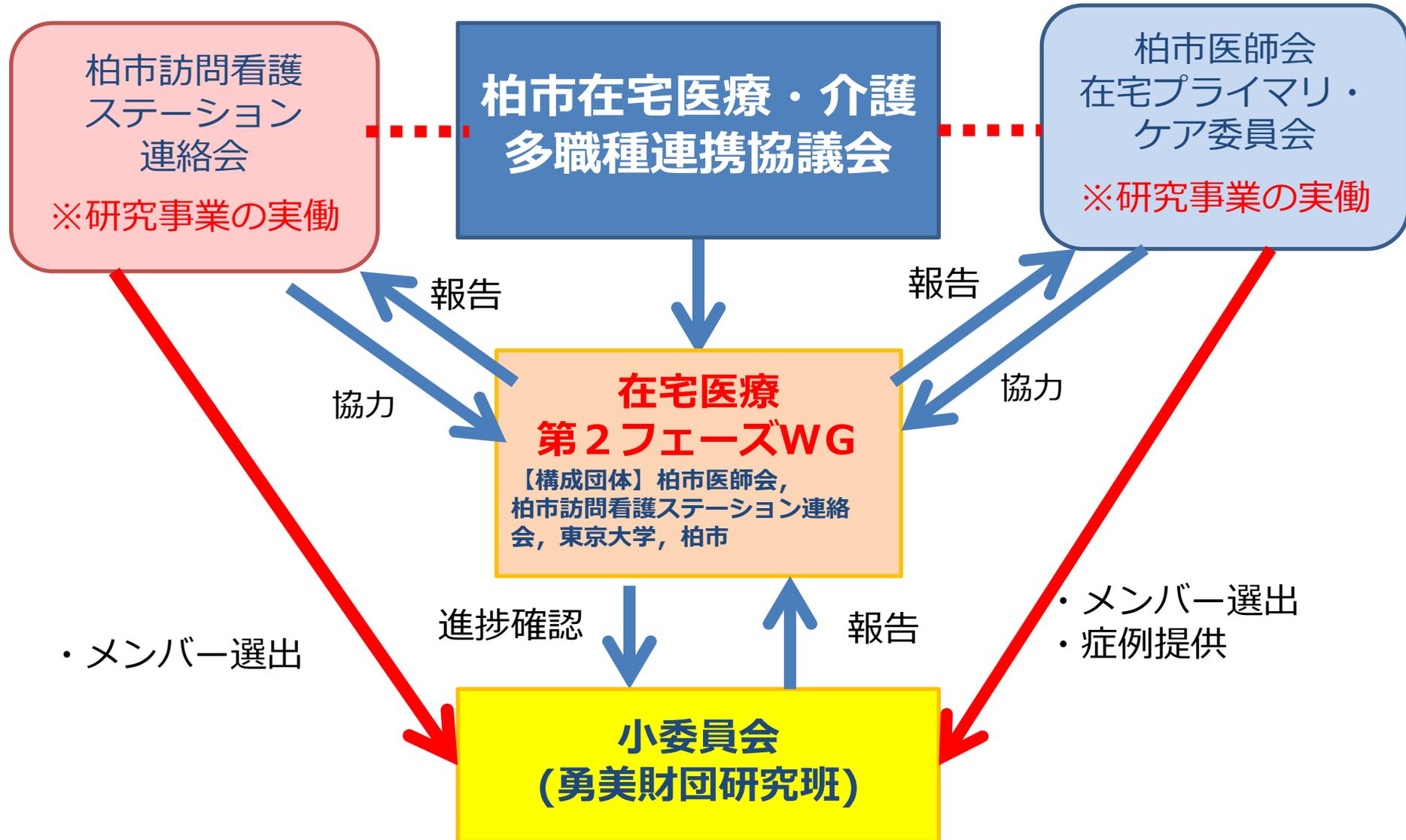
平成29年度 在宅医療助成 勇美記念財団

# 主治医・副主治医制における 機能強化に関する研究

<b>【申請者】</b>	柏市医師会 在宅プライマリケア担当理事	古田達之
<b>【共同研究者】</b>	柏市医師会副会長・在宅プライマリケア副担当理事 柏市訪問看護ステーション連絡会 会長	松倉 聡 大熊智子
<b>【研究期間】</b>	平成29年4月から平成30年3月まで	

※研究者の役職は研究終了時点のものです

# 本研究の検討体制



- 柏市在宅医療・介護多職種連携協議会（主に在宅医療推進のためのルールを検討）
- 在宅医療第2フェーズWG（在宅医療に関する新たな課題に対する解決策の検討）
- 小委員会（本研究の試行方法等の検討）

# 研究の背景

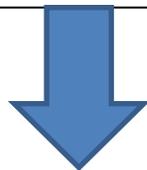
## <主治医・副主治医制>

外来診療を基本とした「かかりつけ医」が大多数の柏市医師会において、患者の急変時に主治医が外来診療中等の理由で駆けつけることができない時に、副主治医が患者宅を訪問することで、患者や患者家族、訪問看護師の安心感と主治医の負担感を軽減することができる。

**主治医・副主治医制は在宅医療を推進する際の重要な制度との認識で体制整備を進めている。**

★目指していること：訪問診療に取り組む医師の増加

★現在の課題：往診対応はしているが24時間応需まではしていない医師  
開業医師の高齢化に伴い往診自体が厳しいという医師



**医師をサポートする仕組み⇒主治医・副主治医制のさらなる充実が必要**

# 研究の目的

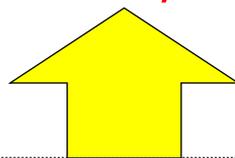
在宅医療に参入する医師を増やすため、柏市医師会で実施している主治医・副主治医制において、患者・家族に馴染みの訪問看護師が副主治医に同行することにより、

- ①患者、患者家族の安心
- ②訪問看護師の安心、負担軽減
- ③副主治医の負担軽減を目的とした仕組み

を試行検証し、類似の状況にある全国の医師会へ発信する。

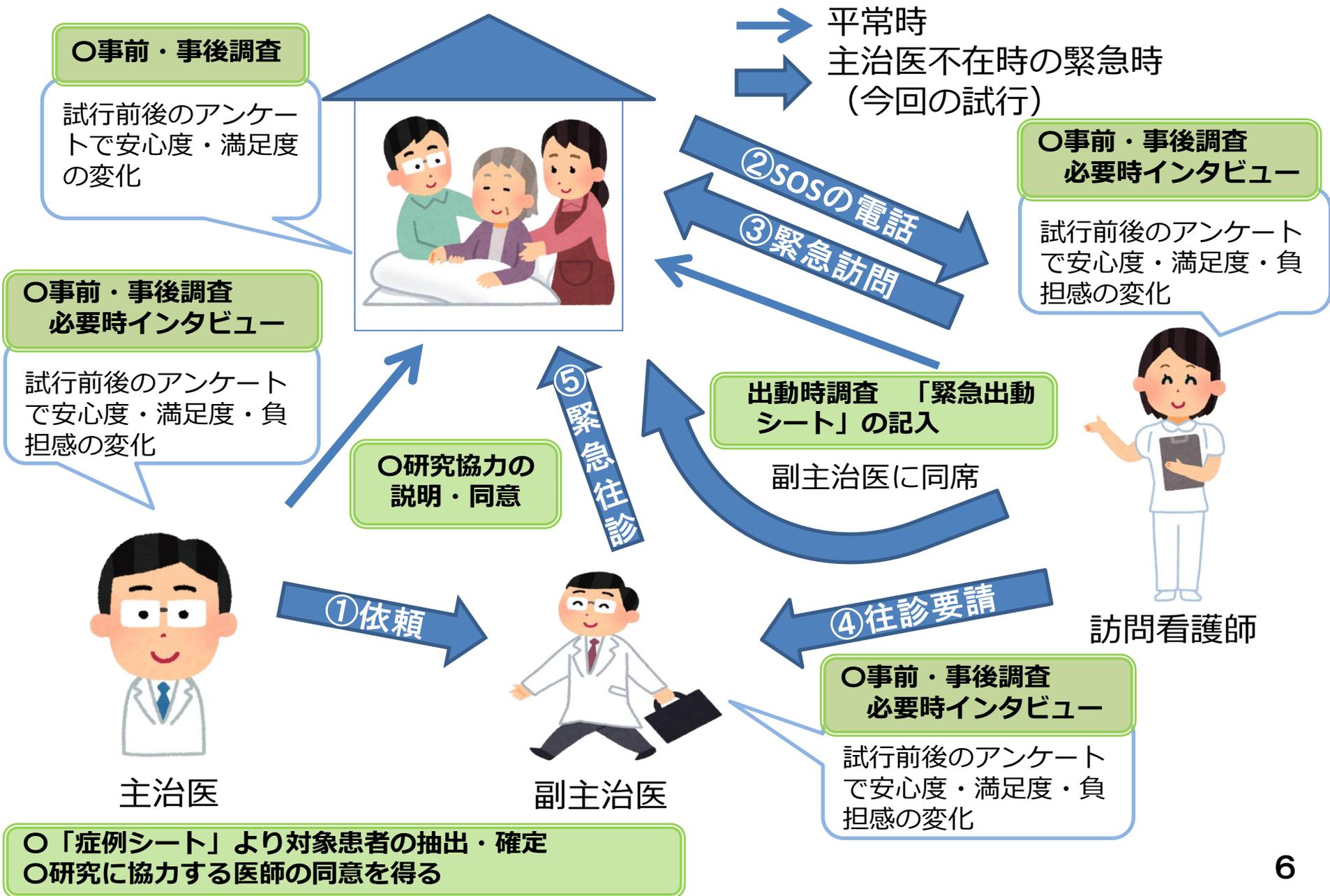
# 研究の実施方法

- ①主治医が特定の日程において、患者宅に訪問できないことが事前にわかっている場合に、緊急時の対応を副主治医に依頼する。
- ②患者・家族からの緊急時のファーストコールは、担当の訪問看護ステーションの看護師が受ける。
- ③ファーストコールを受けた訪問看護師が患者宅に伺い、往診の必要があると判断した場合に副主治医に連絡する。
- ④患者宅に副主治医が到着後も訪問看護師は退出せず同席し、副主治医に患者の状況を説明、情報共有等を行う。



※副主治医到着後も訪問看護師が同席し、副主治医への説明を行う時間帯について、訪問看護師側では介護報酬、診療報酬の算定ができない。  
この部分に研究費予算にて看護師への謝礼金をあてる。  
また、医師、訪問看護師、患者家族にアンケート調査を実施し、それぞれの意識にどのような差異が生じるかを検証する。

# 研究の流れ



# 研究の結果

- 症例登録数：104件（同意書取得：75件）
- 主治医緊急出動件数：10件
- 副主治医緊急出動件数：2件
  
- 訪問看護師緊急出動件数：84件
- ※営業時間内：46件，営業時間外：38件  
（看取り7件，体調不良・急変対応26件）

# 研究から得られた考察

## 【副主治医の緊急出動から得られたこと】

- 主治医の説明と副主治医の説明が同じであったことで家族の不安の解消ができた。
- 主治医が患者の病気だけでなく、生活・家庭環境まで着目し、訪問看護を早期に導入できたことにより、主治医と訪問看護師の連携が図れて適切なタイミングで訪問診療が導入でき、訪問看護師の負担軽減につながった。

## 【訪問看護緊急アンケート結果から得られたこと】

- 主治医から訪問看護師への事前指示があれば、訪問看護師のみでの対応が可能
- 訪問看護師から副主治医に伝える情報の範囲、ツールの明確化が必要

# 研究のまとめ

- ①登録症例は訪問診療開始後1年以上経過し病状が安定していた。
- ②副主治医出動が予想される症例(がんの終末期や訪問診療開始直後)では研究参加の同意が難しい、もしくは登録直前に死亡した。
- ③ファーストコールをルール化したことにより、訪問看護師の緊急出動での対応が可能だった。



## <◆研究より示唆されたこと◆>

- ①患者についての主治医の事前指示の重要性
- ②主治医・訪問看護師・副主治医の情報共有の必要性

- 主治医・副主治医間の必要かつ最低限の情報について、十分な情報とは何かについて、在宅プライマリケア委員会で検討・共有する。
- 主治医の疲弊を防ぎ負担の軽減を図るためにも、訪問看護師の負担の軽減についても検討が必要である。